

## 1. 学校教育目標

- 人間力を高め続ける自信と誇りに満ちた子どもの育成

## 2. 学校経営の重点

- 確かな学力（自ら学ぶ子）
- 豊かな心（関わり合える子）
- 基本的な生活習慣と規範意識（あいさつができる子）
- たくましい心と体（たくましくねばり強い子）

### ①自治的能力を高める。（特別活動を中心に）

- 児童会活動等の段階的指導
- 話し合い活動における進行の計画的指導
- 話し合い活動の計画的実施
- 楽しい学校作りのための「お助けポスト」の充実

### ②人間関係力を高める。（人権・同和教育を含めて）

- 全校・地域・幼稚園等との交流
- ロング昼休みに全校遊びを実施
- 人権・同和教育の取組の家庭・地域への発信

## 3. 児童の実態（研究に関わって）

### 【児童総会における話し合いについて】

- ・ マニュアルがあれば、話し合い活動において司会進行ができる。
- ・ 児童総会で話し合いの仕方を経験し、徐々に体得している。
- ・ 発言することに個人差がある。（良く発言する子と指名されてやっとと言う子がいる、1回は発表しようというめあてがあると大体全員が発表できる）
- ・ 「〇〇さんと似ていて〇〇だと思います」のようなつながり発言ができる児童もいる。
- ・ 話し合いの議題が「学校生活で困ったこと」が多く、よりよい生活作りのための議題がない。
- ・ 昨年度までの議題「牛乳のしずくが床に落ちていること」「廊下や階段を走っている人がいること」「体育館での遊び方・片付け方」「トイレのスリッパ・使い方のこと」など

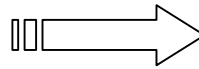
### 【人間関係力】

- ・ 昼休みの全校遊びの時には、全学年と一緒に遊んでいるが、他の日には他学年と遊んでいない児童もいる。（サッカーや野球など、誘われれば一緒に遊ぶ）
- ・ 各学年とも幼稚園児との定期的な交流がある。行事のいくつかは一緒に行っていることもあり、児童は、幼稚園児に温かく関わることができる。
- ・ ふるさと教育の一貫で各学年とも地域の人と温かく関わっている。地域全体で子どもを育てているという意識も高く、地域の方も学校に協力的である。
- ・ 合同学習などでは、消極的になりがちである。

## ※各学級での話し合い活動・人間関係力の実態は？

→児童にアンケートを実施し、実態把握をする。

(QU検査の実施：6月・2月)



各学級の研究計画・  
実践に生かす。

### 4. 本校の課題

- ・楽しい学校・学級にするためのアイデアが少ない。
- ・何か新しいことを企画することがあまりない。
- ・下学年は上学年に頼ってしまう。
- ・一つの意見に流されることがある。
- ・互いをよく知っているため、言いたいことを全部言わず、内に秘めてしまう。(トラブルのもと)
- ・切磋琢磨することが少ない。
- ・自分の考えで主体的に行動できない指示待ちの子どもが多い。

### 5. 研究主題

○ 学校生活を豊かにする自治的能力と人間関係力を身につけた子どもの育成

～望ましい話し合い活動の実践を中心として～

### 6. 主題設定の理由

本校の児童は、豊かな自然と温かな地域の人々に囲まれた環境の中で育ち、素直で真面目である。少人数での生活では、地域の方との交流も多く、地域の方と共に子どもを育てるといった雰囲気もある。温かい環境のため、児童が互いに切磋琢磨することが少ない。しかし、将来、社会で生き抜くためには、自分自身で関わったり新しい考えを見い出したり、少し大変なことや苦手なことでも挑戦したり我慢したりする力なども必要となってくる。

また、本校は、完全複式学級で、幼稚園も併設されており、ほとんどの児童が幼稚園から小学校卒業までの9年間を同じメンバーで過ごすことになる。幼稚園から築かれてきた人間関係は小学校でも引き続き、児童は円滑な人間関係を保つために日々工夫しながら生活をしている。複式学級では、下学年が上学年から様々なことを学び、上学年は下学年のお手本となり学級をまとめることができるというメリットがある反面、人間関係が序列化してしまい相手のしぐさや表情で気持ちを判断しがちであるというデメリットもある。また、学級で話し合いを行っても、少人数のため多様な意見が出にくかったり、上学年を頼って下学年からはなかなか意見が出なかったりすることもある。

そこで、よりよい生活作りのための話し合い活動を積み重ねることを通して、一人一人の自治的能力を高めることをめざして、研究主題を設定した。

### 7. めざす児童の姿

- 日常の生活や学習に進んで取り組もうとする子
- 集団の一員としてよりよい生活作りに積極的に参加しようとする子
- 諸問題の解決や決定事項にたどり着くまで真剣に話し合おうとする子
- 自ら関わり合い、互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができる子

## 8. 研究のねらい

よりよい生活作りのための話し合い活動を積み重ねることを通して、一人一人の自治的能力と人間関係力を高める。

## 9. 研究の仮説

- 知的好奇心をくすぐるような生活・学習環境を整えれば、日常の生活や学習に進んで取り組むことができるようになるであろう。
- 各教科・児童会活動・学校行事と関連づけ、児童が主体となっていく様々な体験活動や集団で活動する場を設定すれば、集団の一員としてよりよい生活作りに積極的に参加しようとするであろう。
- 発達段階に応じた話し合いの仕方を身につけ、話し合いの経験を積み、自分を安心して出せる学級ができていれば、諸問題の解決や決定事項にたどり着くまで真剣に話し合おうとするであろう。
- 日常的な縦割り班での活動、異学年との交流、地域・幼稚園児との交流の機会や場を多様に設定し、関わったときの感動を表現することを積み重ねれば、自ら関わりたいと思うことができるようになるであろう。

## 10. 研究の内容

- 特別活動（新学習指導要領）についての研修
- 学校としての年間指導計画、学級ごとの年間指導計画の作成にあたっての研修
- 先進校の事例研究（話し合いに関連したワークシート作り、話し合いの仕方についての共通理解）
- 研究の成果を客観的に示す方法（アンケート内容、まとめ方）の検討
- 「学期ごとの学級生活作りの指導のめやす」「学級集団育成上の指導のめやす」についての研修（学習指導要領・P51～）

## 11. 研究の方法

（1）各学級の研究計画の作成（6月中に計画を立てる）

- ① 児童の実態
- ② めざす姿
- ③ 研究・研修計画

（2）研究授業の実施

- ① 指導案審議や授業後の省察の時間を十分に確保し、研究授業の充実を図る。
- ② 年間を通じて、研究を視点においた授業を行い、その方法や成果について、適宜情報交換しあって、共有化を図る。

（3）研修

- ① ねらいに適した他校での実践を見聞し、研修を深める。（6月中に計画を立てる）
- ② 研究に参考になる書物や資料について互いに紹介しあう。
- ③ 2～3月にかけて1年間の取組についてミニ研究発表会を実施する。（幼稚園も一緒に）

（4）全校での取り組み

- ① 児童会活動等の段階的指導

- 児童総会の司会進行のマニュアルをもとにきちんと進行できるようにする。
  - 児童総会の議題について各学級でも話し合う機会を設ける。(年間指導計画にも入れる)
- (各学級での話し合い→その学期の担当の委員会で話し合う議題について検討→児童総会で話し合う)

② 話し合い活動における進行の計画的指導

- 発達段階合わせて、司会者・記録者のマニュアルを作成する。
- 学期をおうごとに児童自身で進められるようにする。

③ 話し合い活動の計画的実施

- 年間指導計画への位置づけ(○時間と明記)をする。
- 各学級で話し合いのテーマを検討する。(学期ごと?に更新する)

④ 楽しい学校作りのための「お助けポスト」の充実(生活委員会が主となり進める)

- みんなで楽しめる企画の募集をする。
- 全校遊びですることを企画することからはじめ、徐々に児童のアイデアが広がるように工夫する。

⑤ 全校・地域・幼稚園等との交流

- 各学級で計画を立てる。

⑥ ロング昼休みに全校遊びを実施

- 高学年が企画。

(5) 検証計画…事前・事後に以下のもので検証を行い、児童の変容等をみる。

- アンケート
- Q U 検査
- 学級会カード
- 話し合いチェックカード

**1 2. 実践計画**

月	主な内容	主な行事
4	【研究の基盤作り】 研究方法等の確認 全体の研究計画の作成	入学式(9日) 全国学力調査の実施(22日) 授業公開(24日)
5	【基礎研究】 特別活動について 研究主題等について 年間指導計画等の作成について	島根県学力調査の実施(12・13日) 連合運動会(16日) 田植え(19日) 修学旅行(21・22日)
6	【実態把握】 アンケートの作成と実施 各学級の研究計画の作成	授業公開・すくすく委員会・プール掃除 (7日) 遠足(9日)
7	【実態調査の分析】 アンケートの分析 1学期の取組の反省と情報交換・2学期の方向性	児童総会(9日) 個人懇談(14日) 学童水泳大会(19日)
8	【基礎研究】 先進校の事例研究(話し合いに関連したワークシート作	P T A 奉仕作業(23日)

	り、話し合いの仕方についての共通理解)	
9	【研究の分析・考察】 研究の成果を客観的に示す方法（検証方法、まとめ方） の検討	稲刈り（7日） 敬老会（21日） 読書感想文、みどりの作文コンクール （ふるさと文芸賞）
10	【授業研究会（1）】 研究授業（1・2年） 指導案審議	地区民体育大会（4日） 脱穀集会（上旬） 体操競技大会（10日）
11	【個人研修】 教材研究等	連合音楽会（10・11日） 図画コンクール、豊作祭り（21日） 学習発表会、産業文化祭（22日）
12	【授業研究会（2）】 訪問指導（全学年） 2学期の取組の反省と情報交換	児童総会（10日） 個人懇談（17日） 読書感想画コンクール（25日㍻切）
1	【実態把握・分析・考察】 アンケートの実施・分析・考察・検証 実践記録の作成	大田市教研実践のまとめ 授業公開・すくすく委員会（20日）
2	【研究のまとめ】 ミニ研究発表会	読書ノート審査会（第1週） 授業公開・教育講演会（21日）
3	【来年度の方向】 次年度の方向検討	児童総会（11日） 卒業式（19日）